

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ
コード番号 4820 URL https://emsystems.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國光 宏昌
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営戦略本部長 (氏名) 小林 大悟 TEL 06-6397-1888
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	6,714	20.5	1,533	112.8	1,701	94.8	1,139	99.3
2024年12月期第1四半期	5,571	14.2	720	△15.4	873	△9.2	571	11.7

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 1,140百万円 (98.8%) 2024年12月期第1四半期 573百万円 (7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	16.48	16.42
2024年12月期第1四半期	8.10	8.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	29,139	19,965	68.2	287.52
2024年12月期	31,669	20,619	64.8	297.04

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 19,876百万円 2024年12月期 20,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	9.00	—	26.00	35.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,927	8.5	1,790	46.6	2,140	38.9	1,445	46.6	20.91
通期	21,740	△12.5	2,522	△43.5	3,154	△39.2	1,854	△23.5	26.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	70,514,800株	2024年12月期	70,514,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	1,384,894株	2024年12月期	1,384,894株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 1 Q	69,129,906株	2024年12月期 1 Q	70,560,384株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、為替相場の変動やエネルギー・原材料価格の高止まりや通商政策など国際情勢の変化が世界経済に影響が高まっており、企業収益に影響を与える状況への注視が必要となっております。

当社グループの主要取引先である医療業界におきましては、「医療DX令和ビジョン2030」等に基づいた、医療DXによる効率化や適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上と各種診療報酬改定により、医療介護従事者の人材確保や賃上げに向けた取組が実施されております。

当社グループにおきましては、医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現に向けた取組を継続しており、「医療DX令和ビジョン2030」によるオンライン資格確認システム運用対象範囲の拡大、電子処方箋の推進普及にあわせ、オンライン資格確認システムの医療扶助への対応、電子処方箋の導入設置を順次拡大し、当第1四半期連結累計期間の導入設置件数は想定を上回ったものとなりました。

また、当社グループの各セグメント事業におきましては、2024年に策定された「中期経営計画FY2025～FY2027」に基づき、より効率的に案件の創出に繋げるため、従来の対面型中心の営業からインサイドセールスを強化した営業活動に加え、製品力や収益性の向上を企図した組織編成や、Webサイトリニューアル、MAツール活用、デジタルコンテンツ強化等マーケティングミックスの改善により、潜在的な案件獲得も続けております。当第1四半期連結累計期間においては、オンライン資格確認システムの医療扶助への対応と電子処方箋の導入等医療DXへの対応が加速的に進み前倒しで進捗したことにより、売上高及び営業利益は増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,714百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益1,533百万円（同112.8%増）、経常利益1,701百万円（同94.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,139百万円（同99.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（調剤システム事業）

調剤システム事業につきましては、オンライン資格確認システム関連オプションソフトの導入及び電子処方箋の導入設置が前倒しして進捗したことにより、セグメントの売上高と営業利益はともに増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の調剤システム事業は、売上高5,490百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益1,459百万円（同69.1%増）となりました。

（医科システム事業）

医科システム事業につきましては、組織体制の再構築に加え、デジタルマーケティングを活用し幅広いアプローチを行っております。

「MAPs for CLINIC」の販売拡大により課金売上高が順調に伸びていることに加え、電子処方箋の導入設置が前倒しして進捗したことによりセグメントの売上高と営業利益はともに増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の医科システム事業は、売上高831百万円（前年同期比39.5%増）、営業利益123百万円（前年同期営業損失86百万円）となりました。

（介護/福祉システム事業）

介護/福祉システム事業につきましては、2025年の介護報酬改定の影響を受け、「響・シンフォニー」から「MAPs for NURSING CARE」へのリプレースを前倒しで推進した結果、一部ライセンス数が減少し、課金売上高及び保守売上高の減少に繋がりました。一方、昨年度に減損を実施したことによりセグメント減価償却費は減少したため、営業損失は前年同期比で横ばいとなりました。なお、「MAPs for NURSING CARE」による課金売上高は着実に増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の介護/福祉システム事業は、売上高127百万円（前年同期比8.1%減）、営業損失97百万円（前年同期営業損失104百万円）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、チョキ株式会社の業績が伸長した一方で、昨年度に益盟軟件系統開発(南京)有限公司の個別新機能開発及び法改正有償対応が一巡したことにより、売上高は横ばいであったものの、営業利益は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高298百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益22百万円（同37.8%減）となりました。

(上記セグメント別の売上高及び営業利益(損失)は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。)

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,564百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が2,405百万円、棚卸資産が131百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は13,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が35百万円、無形固定資産が180百万円それぞれ減少したものの、投資その他の資産が250百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は29,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,530百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は7,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,664百万円減少いたしました。これは主に、未払金が694百万円、未払法人税等が881百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が208百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,876百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は19,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ653百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が654百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.2%(前連結会計年度末は64.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想については、これまでの実績並びに最近の事業環境を踏まえ、第2四半期連結累計期間の予想を変更いたしました。詳細については、本日(2025年5月15日)公表の「2025年12月期 第2四半期(中間期)連結業績予想の修正(上方)に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、2025年12月期通期の連結業績予想については、2025年2月14日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,884	9,479
受取手形及び売掛金	4,293	4,239
棚卸資産	889	758
その他	1,283	1,311
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	18,349	15,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	449	473
土地	348	348
リース資産（純額）	22	14
その他（純額）	419	367
有形固定資産合計	1,241	1,205
無形固定資産		
ソフトウェア	1,091	969
ソフトウェア仮勘定	30	34
のれん	1,265	1,217
その他	1,107	1,092
無形固定資産合計	3,494	3,313
投資その他の資産		
投資有価証券	906	966
投資不動産（純額）	6,268	6,403
その他	1,424	1,478
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	8,584	8,834
固定資産合計	13,320	13,353
資産合計	31,669	29,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,376	1,359
1年内返済予定の長期借入金	833	833
未払金	2,217	1,522
リース債務	37	0
未払法人税等	1,584	702
賞与引当金	555	759
契約負債	840	875
その他	1,628	1,355
流動負債合計	9,072	7,408
固定負債		
長期借入金	569	361
退職給付に係る負債	137	139
長期未払金	193	193
製品保証引当金	1	1
長期預り保証金	778	777
その他	296	291
固定負債合計	1,977	1,765
負債合計	11,050	9,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,785	2,785
資本剰余金	2,486	2,486
利益剰余金	15,813	15,158
自己株式	△763	△763
株主資本合計	20,320	19,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	86
為替換算調整勘定	168	123
その他の包括利益累計額合計	213	210
新株予約権	55	55
非支配株主持分	29	33
純資産合計	20,619	19,965
負債純資産合計	31,669	29,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,571	6,714
売上原価	2,649	2,952
売上総利益	2,922	3,761
販売費及び一般管理費	2,201	2,228
営業利益	720	1,533
営業外収益		
受取利息	2	1
不動産賃貸収入	260	268
その他	4	3
営業外収益合計	267	272
営業外費用		
支払利息	3	2
不動産賃貸費用	104	101
その他	6	0
営業外費用合計	114	104
経常利益	873	1,701
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	25	0
減損損失	—	44
特別損失合計	25	45
税金等調整前四半期純利益	848	1,656
法人税等	263	512
四半期純利益	584	1,143
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	571	1,139

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	584	1,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	41
為替換算調整勘定	28	△44
その他の包括利益合計	△11	△3
四半期包括利益	573	1,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	560	1,135
非支配株主に係る四半期包括利益	12	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	345百万円	266百万円
のれんの償却額	64百万円	48百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護／福祉 システム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	2,099	327	11	—	2,438	—	2,438
課金売上	1,710	219	62	—	1,992	—	1,992
サブライ売上	507	12	0	—	520	—	520
保守売上	246	35	65	—	347	—	347
その他の事業売上	—	—	—	271	271	—	271
顧客との契約から 生じる収益	4,564	596	139	271	5,571	—	5,571
外部顧客への売上高	4,564	596	139	271	5,571	—	5,571
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	—	—	27	32	△32	—
計	4,569	596	139	299	5,603	△32	5,571
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	863	△86	△104	36	708	12	720

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年1月1日至2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護／福祉 システム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	3,024	576	20	—	3,621	—	3,621
課金売上	1,775	223	55	—	2,054	—	2,054
サブライ売上	526	14	—	—	541	—	541
保守売上	159	17	51	—	229	—	229
その他の事業売上	—	—	—	268	268	—	268
顧客との契約から 生じる収益	5,486	831	127	268	6,714	—	6,714
外部顧客への売上高	5,486	831	127	268	6,714	—	6,714
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	—	—	30	34	△34	—
計	5,490	831	127	298	6,748	△34	6,714
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	1,459	123	△97	22	1,508	24	1,533

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護／福祉 システム事業	その他の事業	合計
減損損失	—	9	35	—	44

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。